

保護者 様

今治市立北郷中学校長 木村 勝也

## 令和4年度 学校評価アンケートの結果について

春暖の候、皆様におかれましては、日頃より本校教育にご理解・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、1学期末及び2学期末に、生徒・保護者の皆様にお願ひしました学校評価アンケート、教職員自己評価の集計結果をお知らせいたします。この評価結果を基に、職員会議の実施、学校運営協議会での報告等により、より良い学校づくりのための検討を行いました。

つきましては、生徒がより良い学校生活を送れるよう学校運営の改善に取り組んでいきたいと考えていますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

### 記

#### 1 学校の教育目標の達成状況（概要）

教育目標「心豊かに たくましく生きる生徒の育成」ースカッとさわやかな北郷中学校ー

7月及び12月実施の生徒・保護者・教職員に対する学校評価アンケートの結果は、次の表のようになりました。

〈表 肯定的回答率（「よくできている、できている」と答えた回答者の割合）〉

設 問	学校生活に関するアンケート調査結果	生徒		保護者		教職員	
		7月	12月	7月	12月	7月	12月
1	礼儀正しく笑顔で挨拶を行い、最後までやり抜こうとしているか。	96%	96%	89%	87%	100%	100%
2	やる気を持って、家庭学習に進んで取り組もうとしているか。	82%	86%	63%	63%	87%	86%
3	先生は家庭に連絡を取り合っているか。	92%	97%	95%	93%	100%	100%
4	基礎的・基本的な知識・技能が身に付いてきているか。	91%	90%	73%	75%	100%	91%
5	他の人の立場に立って、行動するように心掛けているか。	92%	95%	87%	87%	83%	82%
6	いじめや差別をしない、差別を許さない気持ちが高まっているか。	98%	97%	96%	95%	96%	100%
7	先生は学校生活において、きめ細かに指導しているか。	94%	96%	96%	94%	96%	100%
8	教室環境の美化に心掛け、黙動で清掃しているか。	92%	95%	56%	54%	96%	91%
9	健康で安全な学校生活を送り、避難訓練に積極的に励んだか。	96%	97%	80%	74%	100%	95%
10	自分の役割に責任を持ち、集団生活の向上に努めているか。	95%	97%	98%	95%	100%	95%

## 2 本年度の主な取組の成果と課題・改善

### (1) 学力向上の推進

- ア 昨年度に引き続き、「授業のレシピ」（授業のねらいや学習の流れをあらかじめ提示）を明確にし、生徒が見通しを持って授業に取り組みました。
- イ 授業の始めに前時を振り返るための小テストを行うことで、基礎・基本の徹底を図ることができ、生徒の学力向上につながりました。
- ウ ICT機器を用いた課題を長期休業中に出し、教師の業務改善に努めました。生徒はICT機器の操作に慣れており、主体的に取り組んでいました。
- エ 全国学力・学習状況調査や定期テストの結果から、生徒間の学力差が大きく、学力の二極化が見られ、今後は個に応じた学習支援や補足的な学習指導が必要であると考えています。

### (2) 命を大切にす教育の充実

- ア 家庭での検温や休憩時間の換気、給食前の手洗いを徹底してきた結果、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染拡大を未然に防ぐことができました。
- イ 保健だよりの定期的な配付や計画的な保健指導により、学校内外における健康管理の意識を向上させることができました。
- ウ ウイズコロナの時代とともに、基本的な感染対策の意識が希薄になってきています。常に緊張感を持って感染症対策を引き続き行っていく必要があると考えています。
- エ 学校・家庭・地域が連携し、更に危機意識を持ち、防災マップなどを活用し、地域の危険箇所などを事前に調べて確認し、危機管理を怠らず、状況を考え判断していく必要があります。

### (3) 心の教育、人権・同和教育の推進

- ア 人権・同和教育参観日も実施し、どの学年も意識統一した教材研究を行った結果、生徒の人権感覚を磨き、差別を許さない強い心を育てました。
- イ 学年単位でスマホ安全教室を行い、正しいSNSの使い方について学び、誰にでも起こりうる事例を紹介し、自分の事として考えました。いじめや差別は身近なところから起こることに気付き、相手の立場に立って考えていくことの重要性を再確認することができました。
- ウ 北郷中学校校区三校人権・同和教育研修会では、誰もが安心して生活できる学校にするために、性的マイノリティの人権課題について考え、まずは受け入れる姿勢を大切に、信頼される教師となるよう努めました。

### (4) 生徒指導の充実

- ア 全教職員が生徒理解に努め、職員会議や職員研修を通して、生徒指導上必要な情報の共通理解を図ってきた結果、生徒一人一人の個に応じた指導・支援に努めることができました。
- イ 定期テストの午後からの時間を活用し、生徒一人一人と教育相談を行い、悩みや困っていることなどを教職員に打ち明け、早期に解決に当たりました。
- ウ 教職員の見えないところで問題行動が起こることを予測し、昼休みや放課後など、ふれあい巡回活動の徹底を図り、生徒と触れ合う機会を多く持ち、生徒からの情報収集及び、学年部との情報共有に心掛け、SNSなどによるトラブルの未然防止に努めたいと思います。

## 3 その他

部活動について、運動部・文化部とも、「運動・文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に沿って活動を実施し、生徒の休養を十分に取りながら、かつ、短時間で効率的な活動を行うことができました。地域移行を控え、外部指導者の人材確保など、どのように地域と連携を取って進めていくかを考えていきたいと思っています。

今年度、皆様からいただいたご意見・ご提案と学校評価結果を基に、来年度の教育活動を検討します。また、「家庭や地域との連携」を大切に、積極的な情報発信（学校だより、学年・学級通信、北郷中学校ホームページ）をするとともに、家庭や地域の情報収集にも努め、家庭・地域との更なる連携による学校運営に取り組んでいきたいと考えています。